

議員定数を 31 とすることへの賛成討論

松政クラブを代表して議員定数を 31 とした委員長報告に対して賛成の立場で討論いたします。

今回の定数検討は合併してから 20 年が経過する次回選挙に向けて松江市や議会を取り巻く環境、特に人口減少による基準財政需要額の減や地域の課題から全市的な課題に議員が対応する状況になってきたことなど総合的に鑑み、選挙の 1 年前には決定するべきではとの議論の中から検討が始まりました。

また、特別委員会は 12 月から開催され 4 月 12 日までに 10 回開催されました。

そのような中、私たちの会派では松江市の人口が前回の定数を決定してから、約 1 万人減少し、今後も減少が見込まれること、地方交付税は包括算定されており議員の定数は算定基準とされていないこと、現在減員 3 人で議会運営に支障が生じていないこと、全国と同規模自治体における定数は 28～32 であり会派の中でも同じく 28～32 とする意見もあり、当初 31 人とする会派意見を言ってきた経緯もあります。その後各種団体の意見では多くの団体が 30 という意見が出されたところであり 30 とする主張を行いました。各会派の意見がまとまりませんでした。

本来定数について意見を言うことは構いませんが採決では少数差で決めるのではなく大方の意見をまとめるのが大切であると思っています。また、32 とされた会派も 31 とするなど定数をまとめるために努力をしていただきました。ここで数を競って定数をまとめることができないということは逆に削減できないこととなります。それは私共会派の望むところではなく、総合的に勘案して松政クラブとしては 31 と主張をさせていただきました。

よって、定数を 31 人とした委員長意見に賛成します。議員諸氏のご賛同をよろしく願います。